

# 雪国の温泉熱と雪冷熱を利用したエコな産業創造による地域活性化事業

## 概要

地域に豊富にある温泉熱と雪冷熱のエネルギーの地産地消により、低コスト・低負担（農作業）、鳥獣害対応型、通年型農業の確立を目指し、温泉排湯ヒートポンプ活用の温室と雪室による、山菜等の高付加価値作物の栽培や、出荷時期管理の可能性について実証調査を行い、実現可能性が示された。

また、これらの作物を活用した阿賀町の食のブランド化と観光振興の展開について町内の事業者ヒアリング調査をもとに検討し、展開モデル案を作成した。

## 事業の内容

### 事業の内容

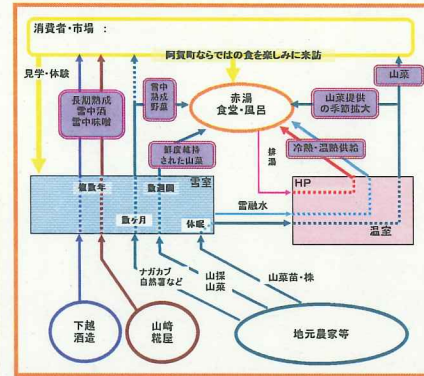
- ①温泉廃湯熱・雪冷熱の利用可能調査(実証実験、システム検討)
- ②モデル作物の栽培実験(栽培方法・生産量・コスト)
- ③食の地産地消による観光振興手法検討(事例調査、ワーキング会議)
- ④地域産業化に関する検討調査(事例調査・ワーキング会議)

### 総事業費

10.54百万円

### ポイント

- ①温泉排湯ヒートポンプを活用し、冷熱と温熱のエネルギーの双方を活かして通年利用可能なシステムとしたこと
- ②町内の遊休施設を活用することで、施設の初期投資を低く抑えるとともに、豪雪への対応を図ったこと
- ③町内の旅館や温泉施設で人気がある「山菜」の出荷調整を可能としたことで、安定供給の可能性が示されたこと。



## 新潟県阿賀町



ビニールハウス  
5400×4500  
(3間×2.5間)  
7.5坪



水耕栽培ユニット  
2坪(イチゴ)  
照明時間 6:00~19:00  
電球色・昼光色LED  
電圧 200V  
電線径 φ100001 x

左側ユニット 緑LED  
(前夜への風力、生育促進)  
照明時間 17:30~20:00



高天井 (イチゴ)  
照明時間 6:00~18:00  
植物育成用LED  
長: 40m 幅: 600m  
20W×12本  
電線径 φ30001 x

緑LED  
(前夜への風力、生育促進)  
7W×3台  
照明時間 17:30~20:00

## 事業の成果

- ①ヒートポンプと雪室の活用により、地域資源である温泉と雪冷熱エネルギーの地産地消が、実現できる可能性が示された
- ②灯油の3割程度の費用で、低負担・鳥獣害対応・通年型の農業が実現できることがわかった。
- ③阿賀町の強みである、山菜、自然薯、糍(味噌や酒)、野菜などを地域ブランドに育てることで、観光振興と食の地産地消の展開が図れる可能性が示された。
- ④地場野菜の商品化や施設栽培の管理により、農家女性や高齢者の活躍の場の創出が期待された。

